

西東京市から世界へ、

2018年が幕を開けました。2019年にはラグビーワールドカップ日本大会、2020年には東京でオリンピック・
西東京市出身で市民栄誉賞第1号でもある井口資仁^{ただひと}千葉ロッテマリーンズ新監督に、スポーツが社会に与える

多くの方の健康維持のために、運動は大切です

Q ご自身が考える西東京市の魅力を教えてください。

A 井口資仁監督(以下、監督) 居心地の良い場所という印象があります。やはり小さい頃に過ごした地元ですから、いろいろな場所にいろいろな思い出があります。ここは野球を始めた場所であり、中学まではこの土地でずっと野球をやってきたので、僕にとっては原点です。この西東京市から僕と同じような道をたどる子どもたちが出てきてくれたらいいなと思っています。

A 丸山浩一市長(以下、市長) 本市は都心へのアクセスが良いことから、住宅都市という印象を持たれるようですが、公園や農地など緑も多く残ります。また、国史跡に指定された「下野谷遺跡」をはじめ、数多くの文化財があり、緑とともにそれぞれの時代の息吹を感じることができるのも、本市の魅力だと思います。このほかにも年間を通して、食べ歩きや農業体験などたくさんの催しがあり、楽しみながら健康になれるまちです。

Q 今回のような野球教室(下記参照)は、子どもたちにとって貴重な機会だと思いますが…。

A 監督 もう現役は最後になりますけど、実際に動いてプロのすごさとか、いろいろなものを伝えられたらいいなと思って臨みました。僕らが子どもの頃は、OBが来ることはあっても現役の選手が野球教室に来てくれることはほとんどなかったもので、そういう部分でも子どもたちと接して、いい形で野球の魅力が伝わってくれたらうれしいです。こういう区切りのタイミングに、地元で野球教室をできたのは非常にありがたいです。



A 市長 子どもの頃にトップ選手に教わったことで夢が大きくなったというお話を伺うことがありますが、本当に貴重な機会になったのではないかと思います。井口監督をはじめ、プロの方々が、こうした活動にご協力くださるのは本当にありがたいことです。

Q スポーツの魅力はどんな部分にあると思いますか？

A 監督 健康第一といいますが、汗をかいて健康維持につながる所が良いところだと思います。子どもの場合は礼儀やマナーが身に付きますし、野球に限らずいろいろなスポーツを通して、これからの人生にプ

ラスになることがたくさんあると思います。野球の場合は団体競技なので、チームワークの大切さを学ぶこともできます。

Q 本格的な高齢社会を迎えるにあたり西東京市はどのように運動(健康づくり)を推進していますか？

A 市長 お子さんもそうですが、ご高齢の方々の健康維持のためにも運動は大切です。早めに「フレイル^{*}」状態に気づけば、健康を取り戻しやすくなります。地域のコミュニティの力で、元気な市民の方が自分のフレイルに気づいた方をサポートして、多くの方々に少しでも健康な状態を長く維持してもらいたいと考えて、フレイルの理解と予防を呼び掛けています。
※いわゆる虚弱^{ろうじやく}のことで、「元氣」と「要介護」の中間の状態。予防には、栄養・口腔、運動、社会参加の3つが必要とされる。



丸山浩一市長

元福岡ソフトバンクホークス

井口監督・斉藤和巳^{さん}を招いて市内で野球教室を開催！



昨年12月2日、向台運動場にて、西東京市軟式野球連盟に所属している14チームの小学6年生、約100人がプロ野球で活躍したお二人に打撃や守備を指導していただきました。参加者はみんな目を輝かせながらバットを振り、ボールを追いかけていました。

後半にはホームラン競争も行われ、優勝者には、井口監督が自らのバッティングクラブを贈呈。続いてお二人が硬式球でのバッティングを披露すると、打球の鋭さに会場からは驚きの声上がり、野球教室は大盛況のうちに幕を閉じました。

※当イベントは、MTNT共同事業体(市指定管理者)と西東京青年会議所による共催事業です。

野球教室はとても楽しかったです。バッティング練習の時に井口監督に「良かったよ」とスイングを褒めてもらって、すごくうれしかったです。中学では陸上をやりたいと思っているので、野球はこれで最後になるのですが、今日はすごく良い思い出になりました。野球で学んだことを生かしてこれからも頑張りたいです。

藤井渚月^{さん}(向台リトルライオンズ)

